

福井コンピュータ株式会社

(証券コード:9790)

平成21年3月期決算説明資料

2009年5月

- 1--業績の概況
- 2--経営指標の推移(連結)
- 3--経営指標の推移(単体)
- 4--セグメント情報①—事業の種類別・売上
- 5--セグメント情報②—事業の種類別・損益
- 6--平成21年度見込(連結)
- 7--平成21年度見込(単体)
- 8--1株当たり純資産額の推移(連結)
- 9--1株当たり当期純利益の推移(単体)
- 10--有利子負債の推移
- 11--1株当たり配当額の推移

【業績の概況】

減収減益決算 赤字はH15/3期以来

《連結》

売上高 63.9億円 営業利益 -0.6億円 経常利益 -0.8億円 当期純利益 -3.8億円

単体

売上高 63.5億円 営業利益 -0.5億円 経常利益 -0.7億円 当期純利益 -4.8億円

《対前期》

売上高---連結で11.7億円の大幅減(15.5%減)

うち、建築CADソフトウェアが8億円の減少(20.9%減)

営業利益---売上高の減少の影響が大きく、連結で8.3億円の減少

経常利益--- " 、 " 9.0億円の減少

【経営指標の推移(連結)】

		平成19年3月	平成20年3月	平成21年3月	前期比
売上高	(億円)	73.6	75.7	63.9	-11.7
営業利益	(億円)	9.8	7.6	-0.6	-8.3
経常利益	(億円)	10.1	8.2	-0.8	-9.0
当期純利益	(億円)	6.6	4.4	-3.8	-8.2
純資産額	(億円)	63.3	63.9	52.6	-11.2
総資産額	(億円)	87.9	86.1	70.3	-15.7
有利子負債	(億円)	0.9	—	—	—
1株当たり純資産額	(円)	501.53	506.21	458.36	-47.85
1株当たり当期純利益	(円)	52.34	35.47	-31.16	-66.63
株価収益率	(倍)	18.7	16.3	—	—
株価	(円)	981	578	287	-291

【経営指標の推移(単体)】

		平成19年3月	平成20年3月	平成21年3月	前期比
売上高	(億円)	73.3	75.3	63.5	-11.7
営業利益	(億円)	10.4	7.7	-0.5	-8.3
経常利益	(億円)	10.8	8.2	-0.7	-9.0
当期純利益	(億円)	6.8	4.5	-4.8	-9.3
純資産額	(億円)	64.2	64.9	52.6	-12.2
総資産額	(億円)	88.7	86.9	70.3	-16.6
1株当たり純資産額	(円)	508.71	514.09	458.58	-55.51
1株当たり配当額	(円)	24	27	0	-27
1株当たり当期純利益	(円)	54.23	36.19	-39.38	-75.57
配当性向	(%)	44.3	74.6	—	—

【セグメント情報①－事業の種類別・売上】

単位：億円

	平成20年3月	平成21年3月	前期比
建築CADソフトウェア	38.2	30.2	-8.0
測量CADソフトウェア	17.1	14.8	-2.2
土木CADソフトウェア	9.8	9.2	-0.5
サポートサービス	4.1	4.3	0.1
ハードウェア	3.0	2.5	-0.5
建設系CAD事業	72.3	61.1	-11.1
メディカルF事業	0.0	0.1	+0.1
ITソリューション事業	1.8	1.5	-0.3
その他の事業	1.5	1.1	-0.4
合計	75.7	63.9	-11.7

【セグメント情報②－事業の種類別・損益】

単位:億円

	売上高	営業損益	
建設系CAD	61.1	8.5	<p>○建築CADソフトウェア ---- 売上高は3,020百万円で、前年同期に比べ800百万円の減少。 新設住宅着工戸数について上半期は月10万戸を下回る月が多く、下半期にいたっては月平均で約7万6千戸と2007年6月の建築基準法の改正後の一時期を除けば近年にない低調な着工戸数にて推移しました。このような環境の下、建築CADソフトウェアの売上高も着工戸数の減少に応じて低調に推移し、販売以来初めて下半期実績が上半期実績を下回る。</p> <p>○測量CADソフトウェア ---- 売上高は1,486百万円で、前年同期に比べ227百万円の減少。 不動産業の大型倒産が相次いだ影響もあり、登記測量を主たる業務とする土地家屋調査士業でのソフトウェア導入が減少。</p> <p>○土木CADソフトウェア ---- 売上高は927百万円で、前年同期に比べ54百万円の減少。 道路特定財源の暫定税率失効に伴う公共事業予算執行の保留や見直しの影響により、建設業からの新規受注が減少。</p>
メディカルF	0.1	-3.2	<p>健康志向の追い風に乗れ、話題性に富む事業として4月から本格的な販売活動を開始しましたが、フィットネス市場では投資意欲の減少とメディカルフィットネスに対する理解不足に直面しました。一方、介護市場は法改正により活性化してきており、この市場向けに運動機器開発を行いました。販売開始時期が遅れたこともあり、収益にはつながりませんでした。</p>
ITソリューション	1.5	-0.6	<p>建設業向けSaaS型商品「ARCHITREND Do! Photo」の販売、報道機関向け出口調査システム「One Click Counter」の拡販に努めてまいりましたが、建設不況や総選挙の先送りなどの影響を受けました。</p>
その他	1.1	-0.1	(スクール、宿泊予約システム)
消去又は全社	-	-5.1	消去又は全社---各セグメントに配賦不能な収益または費用
合計	63.9	-0.6	

【平成21年度見込(連結)】

単位:億円

	平成21年3月実績	平成22年3月見込	前期比
売上高	63.9	63.5	-0.4
営業利益	-0.6	3.4	4.0
経常利益	-0.8	3.4	4.2
当期純利益	-3.8	1.0	4.8

【CADソフトウェア事業】

建築CADソフトウェアでは、住宅ローン減税や住宅投資減税、さらには住宅限定の贈与税減免の制度改革や下半期に施行される瑕疵担保保険制度などの国策により、住宅着工件数の回復が見込まれます。また、土木業界においては過去最大級の公共事業投資に依る設備投資の増加が見込まれることから、関連の土木CADソフトウェア及び測量CADソフトウェアは回復するものと捉えております。次期においては、これらの要因を踏まえた販売政策を実施し、主軸の建設系CAD事業の収益向上に努めてまいります。

【その他の事業】

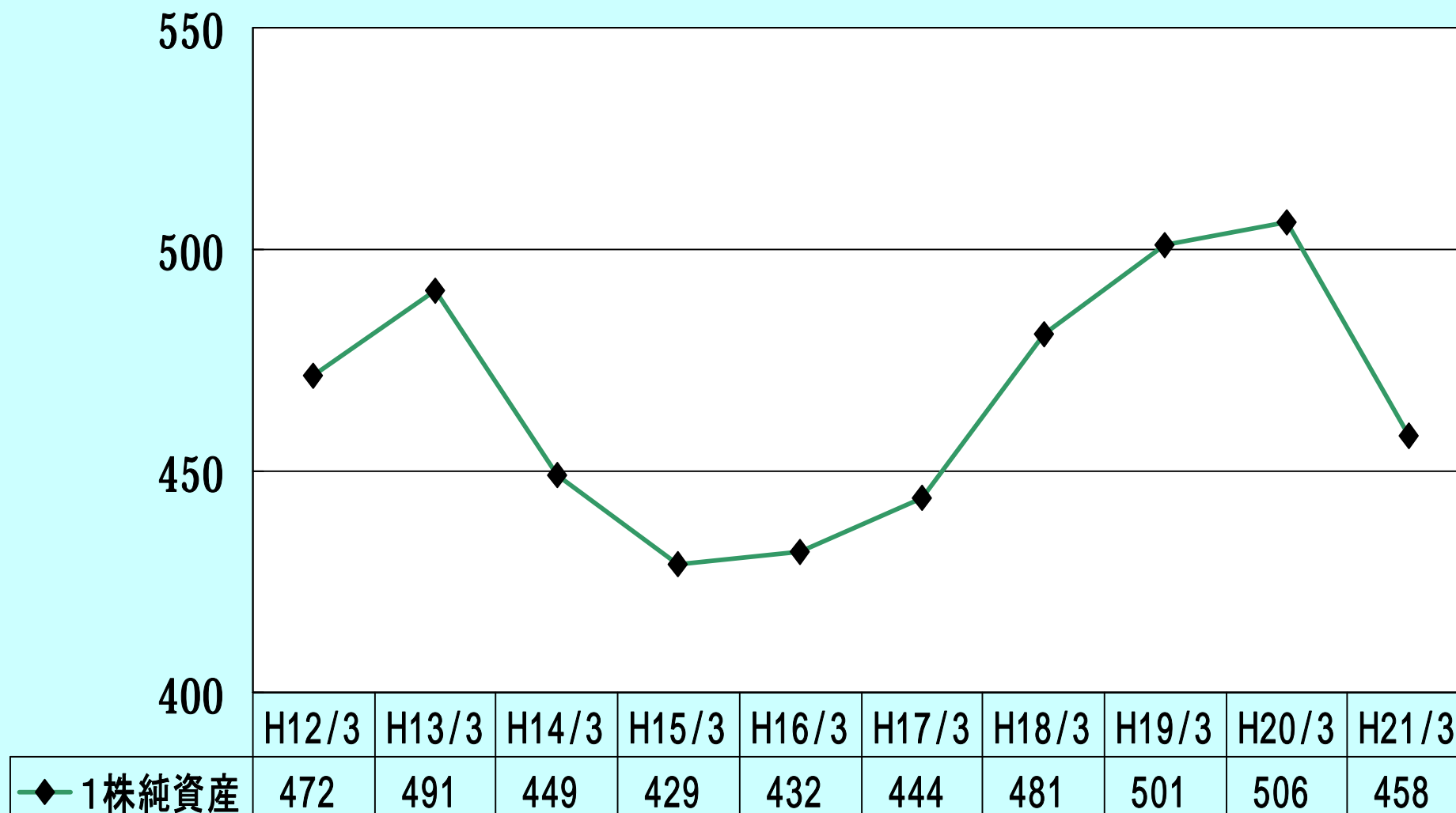
ITソリューション事業は事業内容を再編し、選挙の出口調査システム及び宿泊予約管理システムを中心に利益面での貢献を図ります。他のメディカルフィットネス事業、スクール事業及び中国・上海子会社につきましては、次期期中内に撤退いたします。次期において、撤退までの費用並びに撤退に伴う損失が発生しますが、撤退を機に経営資源をCADソフトウェア事業に集中し、収益力の向上につなげるとともに、景気変動に左右されない企業体質の構築に努めます。

【平成21年度見込(単体)】

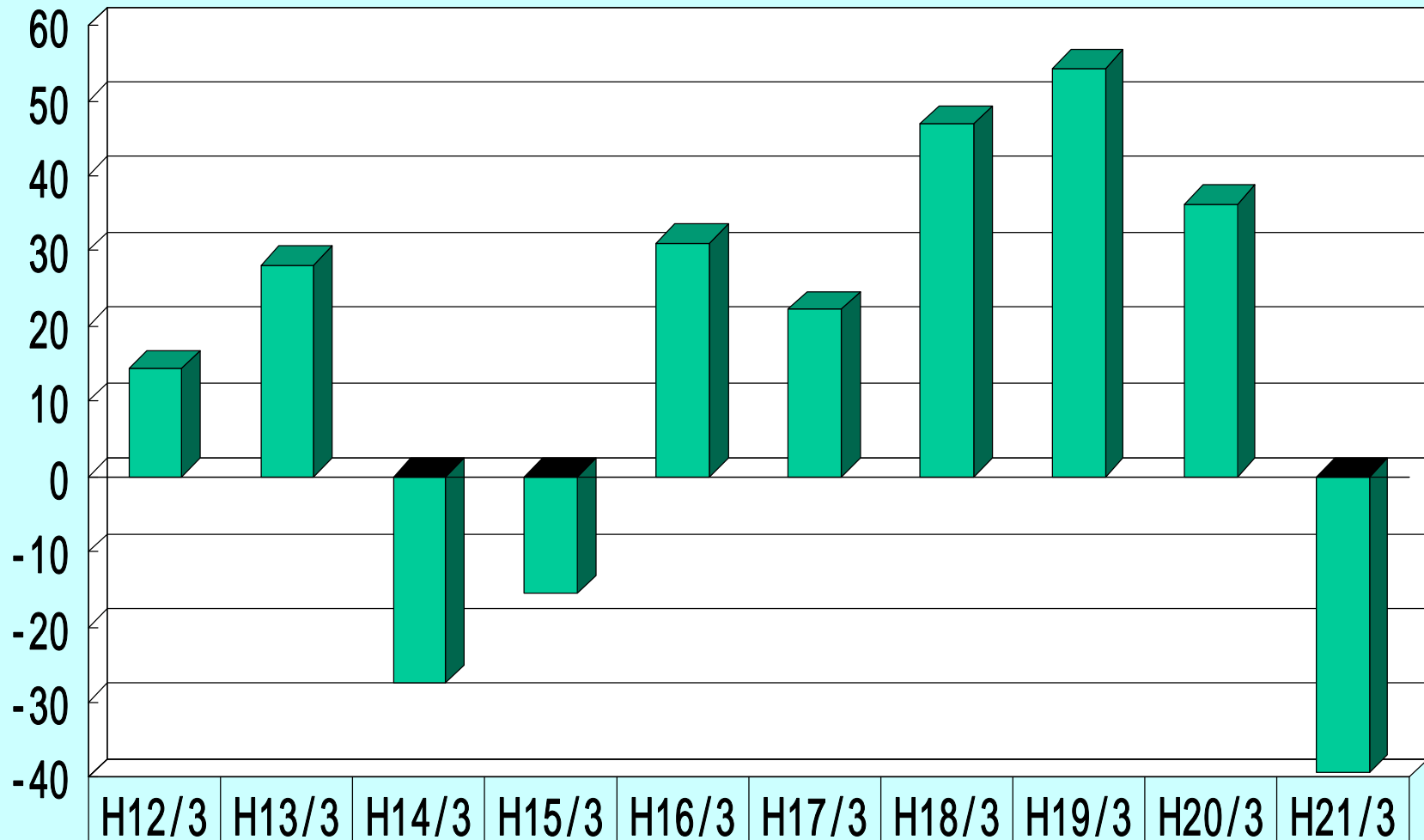
		平成21年3月実績	平成22年3月見込	前期比
売上高	(億円)	63.5	62.0	-1.5
営業利益	(億円)	-0.5	3.4	3.9
経常利益	(億円)	-0.7	3.4	4.1
当期純利益	(億円)	-4.8	1.2	6.0
1株当たり配当額	(円)	0	5	5
1株当たり当期純利益	(円)	-39.38	10.45	49.83
配当性向	(%)	—	47.8	—

2010(平成22)年3月期の年間配当額は、目標配当性向を40%以上(単体)とし、5円(中間配当 0円、期末配当 5円)を予想しております。

【 1株当たり純資産額の推移(連結) 】 (単位:円)

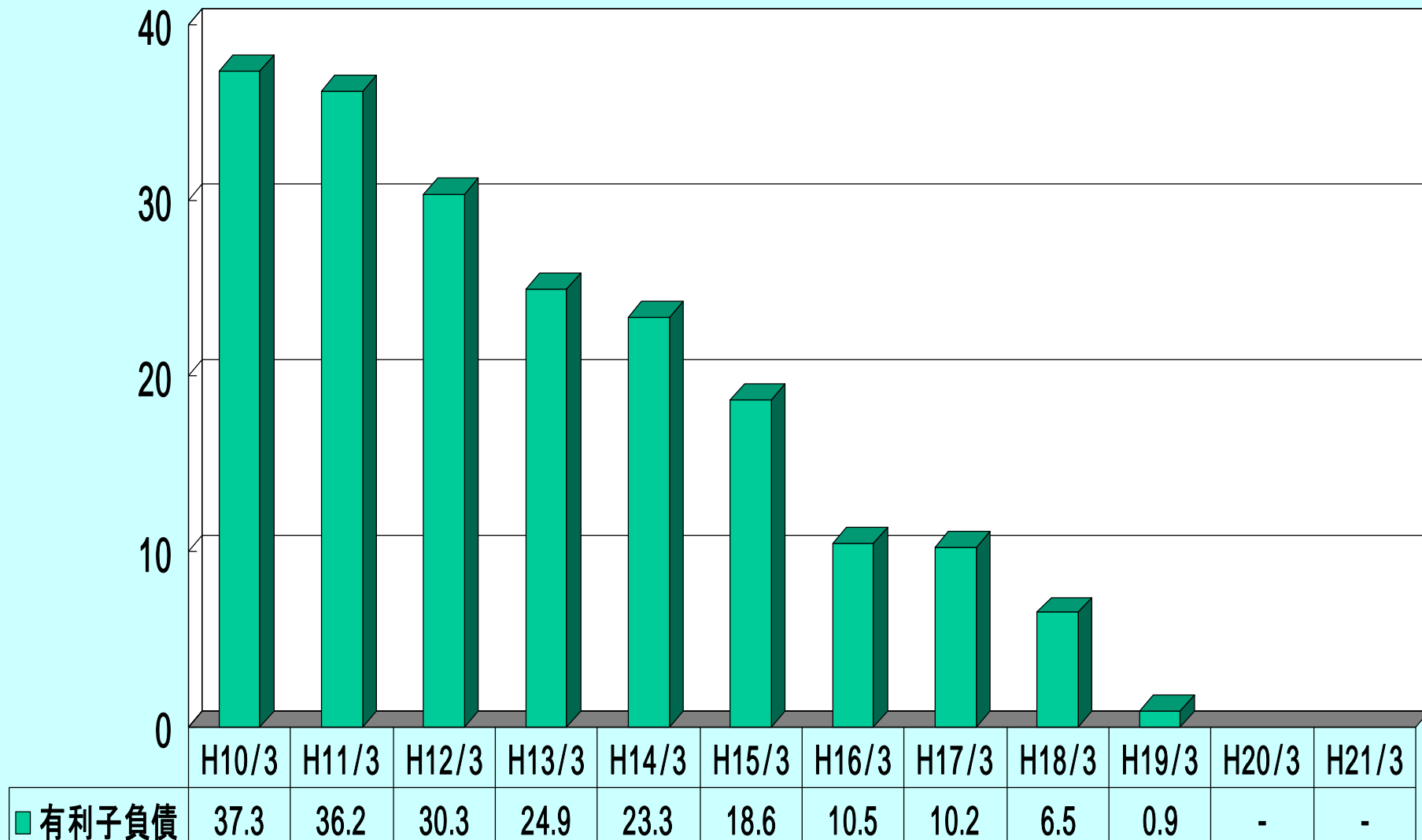


【1株当たり当期純利益の推移(単体)】(単位:円)



■ 1株純利益	14.4	28.2	-27.5	-15.6	31.0	22.2	46.9	54.2	36.2	-39.4
---------	------	------	-------	-------	------	------	------	------	------	-------

【有利子負債の推移】(単位:億円)



【1株当たりの配当額の推移】

当社は、2005年11月より、「安定的かつ継続的な利益還元」から「配当性向を重視した業績連動」型に配当政策を変更し、目標配当性向を40%以上(単体)といたしております。しかしながら、当期は、当期純損失(単体)が481百万円であることを勘案し、無配とさせていただきます。

